

受け入れチームの紹介
徳島県少年男子選手団十六名
(監督等三名、選手十三名、阿南工業高校・富岡西高校選抜。うち一人は全日本のメンバーであり、かつ、二十七日の九石ドームでの開会式では徳島県の旗手を努められました)

宿泊・調理の状況

宿泊は二三名が七戸に分宿し、調理は二十四名が班編成を行い、獲れたての「ひとめぼれ」の新品と愛情を込めた調理でおもてなしをしました。

寺村民泊協力会

会長 井原 道善

歓迎迎会の状況
ハード面では、

空き地の花壇整備、プランターの飾り花、めじろんグッツの作成、歓迎用ロールの設置、横断幕、めじろんのイルミネーションの設置等ですっかり歓迎モードとなり、

到着した二十六日には、幼児によるめじろんダンスや歌で歓迎しました。

送別会では歓迎会で約束していました「豊後玖珠牛」の焼肉料理でおもてなしをし、選手団と民泊協会が一緒になって「盆踊り」



きれいなプランターと手作りの横断幕で歓迎

「フォークダンス」「阿波踊り」で交流を深めました。

翌朝は「さよなら」の歌でお見送りをし、別れを惜しんで涙ぐむ者もありました。

民泊受け入れして

感じたこと

一回戦の試合では善戦むなしく

惜敗をしましたが、応援では揃いのハッピを着て太鼓や応援スティック棒を打ち鳴らし、選手の迫力ある試合ぶりに大きな声援を送り、久方ぶりに興奮しました。

三泊四日という短い期間ではありましたが選手からは感動とパワーをもらい生涯忘れられない思い出となったことに感謝しています。

また、このような形で国体に参加でき皆さんのお役にたてたことを光栄に思っています。

今後は国体で結ばれた心の絆を大切に、このエネルギーを地域づくりに繋げていきたいと思っています。

最後に調理支援をしていただきました玖珠地区食生活改善推進協議会(麦の会)の皆様にごこの紙面をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

